

近年の水質異常の状況等

年月	事象	処置・対応	課題 (課題に対する対応)
平成 20 年 2 月 12 日	保呂羽浄水場にて濁水事故発生	別冊参照	
平成 21 年 10 月	台風 18 号の影響により、北上川水系南沢川で増水し、津山町横山地域で一部冠水。大萱沢浄水場付近で土砂崩れが発生、接合井が流出し、緩速ろ過池に土砂が流入した。	10 月 8 日～9 日 大萱沢浄水場の取水停止処置を行い、接合井の配管を改良、緩速ろ過池の清掃を行った。 配水池内の水量で対応できたため、断水はなかった。	予備水源の整備や、浄水場付近の土砂崩れ予防策の検討。 (平成 26 年に予備水源整備)
平成 23 年 3 月 11 日	東日本大震災発生	別冊参照	
平成 23 年 9 月	北上水系迫川にてかび臭物質 (2MIB) 発生。	9 月 4 日～10 月 4 日 石越浄水場の取水停止処置を行い、保呂羽浄水場から受水し対応。	かび臭物質を処理することのできる施設の検討。 (平成 27 年に活性炭注入設備設置)
平成 24 年 10 月	台風 17 号の影響により、北上川水系北上川と北上川水系迫川の濁度が上昇。	10 月 1 日～11 月 21 日 石越浄水場の取水停止処置を行い、保呂羽浄水場から受水し対応。	高濁度原水を処理することのできる施設の検討。 (平成 25 年に薬注設備改良により、原水濁度 1000 度まで浄水可能となった。)
平成 25 年 2 月	岩手県花巻市の工場から北上川水系支流に、シアンの流出事故が発生。	保呂羽浄水場の水質監視強化を行い対応。 (この流出事故による影響は確認できなかった。)	各関係機関との情報共有の強化 (上流域水道事業者との連絡体制を確認)
平成 25 年 7 月	ゲリラ豪雨により北上川水系迫川の濁度が上昇。	7 月 18 日～7 月 22 日 石越浄水場の取水停止処置を行い、保呂羽浄水場から受水し対応。	高濁度原水を処理することのできる施設の検討。 (平成 25 年に薬注設備改良により、原水濁度 1000 度まで浄水可能となった。)

平成 26 年 5 月	降雨日数の減少により北上川水系大関川の水位が低下。この伏流水を水源としている錦織水系浄水場の井戸の水位が低下し、取水量の低下及び濁度が上昇。	5 月 19 日～5 月 24 日 錦織水系浄水場の取水停止処置を行い、保呂羽浄水場から受水し対応。	予備水源の検討。 (平成 25 年に保呂羽浄水場からの緊急時用連絡管の整備)
平成 26 年 9 月	北上川水系北上川にて、かび臭物質(ジェオスミン)発生。(原因は特定できなかったが、上流部にある田瀬ダムのアオコ発生が影響と考えられる)	9 月 10 日～10 月 20 日 保呂羽浄水場に臨時の活性炭処理設備により対応。 (基準値以内ではあったが、問い合わせが多かったために、防災無線等で広報実施)	かび臭物質を処理することのできる施設の検討。 (平成 26 年に活性炭注入設備を設置) (平成 27 年に取水施設に活性炭注入設備の新設)
平成 26 年 10 月	台風 18 号・19 号により、大萱沢の湧水(濁度上昇)と、米谷水系浄水場の水源である地下水(色度上昇)が影響を受けた。	10 月 14 日 大萱沢浄水場と米谷水系浄水場の取水停止処置を行い対応。 米谷水系浄水場では、保呂羽浄水場から受水し対応。 (いずれの浄水場も半日程度で水質が基準値内に復帰。)	予備水源や、高濁度原水を処理することができる施設の検討。 (平成 26 年に大萱沢浄水場で予備水源整備) (平成 25 年に保呂羽浄水場から米谷水系浄水場への緊急時用連絡管の整備)
平成 27 年 7 月	降雨日数の減少により北上川水系迫川の水量が低下し、取水不能。	7 月 14 日～7 月 28 日 石越浄水場の取水停止処置を行い、保呂羽浄水場から受水し対応。	ダムの放流量等、河川流量に関わる情報収集の強化。
平成 27 年 7 月	石越浄水場、浄水水質検査時に塩素酸が水質基準を逸脱。	8 月 1 日～8 月 11 日 石越浄水場の取水停止処置を行い、保呂羽浄水場から受水し対応。 (原因は 7 月の取水停止時に長期間高温が続いたため、薬品が劣化したと考えられる。)	薬品の管理及び貯蔵環境改善の検討。 (平成 28 年に薬品貯蔵室へ空調設備設置予定)

平成 27 年 9 月	台風 18 号の影響により、北上川水系迫川の濁度が上昇、旧細倉鉦山排水処理施設より排水が流出。	9 月 11 日～9 月 16 日 石越浄水場の取水停止処置を行い、保呂羽浄水場から受水し対応。 (9 月 14 日、臨時の水質検査時全ての基準値を満たしていることを確認。)	バイオアッセイ等の毒物監視装置の検討。
平成 27 年 10 月	北上水系迫川にて、かび臭物質 (2MIB) 発生。	10 月 23 日～11 月 24 日 石越浄水場で活性炭処理設備により対応。	長期間のかび臭物質に対応するため、貯蔵槽の大型化の検討。 (平成 26 年に活性炭注入設備設置)